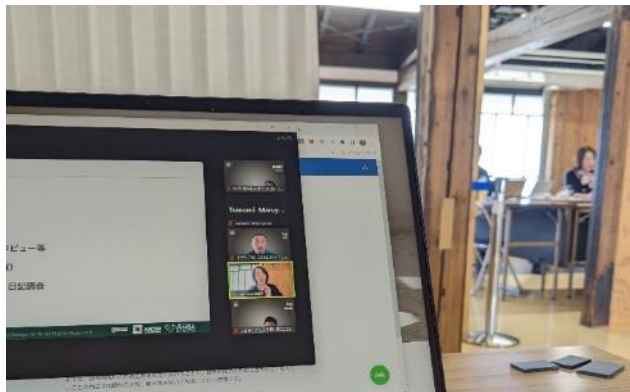


活動報告書

今月の主な活動

10月21、22日名古屋商科大学大学院ビジネススクールの授業で担当の澤谷教授が実際に富岡に訪問し、旧葦塚製糸場から Zoom で授業を発信する機会を作りました。MBA の授業では主に経済合理性、効率化を目指しロジカルに解決策を考える事が多いのですが、この授業ではデザイン思考というデザインファーム IDEO が提唱している問いから考え直し、拡散的に答えを導き出す手法をフィールドワークやエスノグラフィを通じて探る社会人学生に取ってもチャレンジングな授業となります。

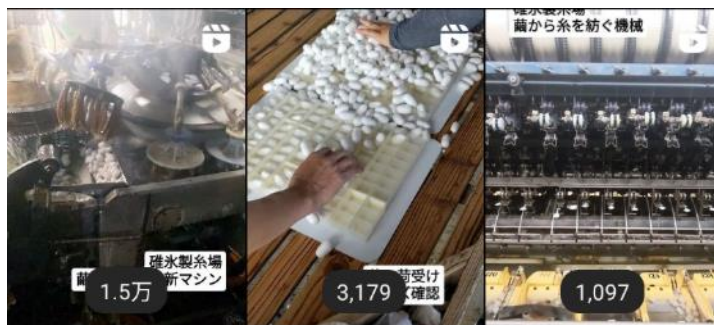
クラフトの未来をテーマに行われた授業で、富岡シルク推進機構の事務局長・長谷川さん、農林課蚕糸園芸係の山崎さんにも参加協力いただきました。富岡シルクの抱えている現状の課題を社会人学生の方々と共有していただき、実際の現場の声が刺激になったようです。



今月は視察にも同行させていただく機会も多く、碓氷製糸場で実際に動いている製糸機械をみる事ができました。一般的合理性だけで言えば、養蚕工程から工場化し、安価な糸を大量に作るという答えに行きがちですが、価格競争に入れば農家も苦しみ廃れる未来が見え、文化的背景も持つ富岡市の養蚕業にはマイナスになり独自性を失う危険性を感じました。富岡シルクの良さは糸だけではなく、その土地との繋がり、農家の思いなど地域全体を価値と捉えることが付加価値になり、地域から発信しているブランドとして機能するように感じています。

今月のハイライト

インスタグラムのリールに投稿した碓氷製糸場の5秒程度の動画が投稿後1週間も経たずにアカウントリーチ数1万5千を超えました(2023年11月1日現在)。それまでの投稿は行っても数百程度でしたが、この動画は1時間もしないうちに千を超えました。続けて投稿した3枚目(右)は同じマシンでもさほど伸びず、後から投稿した繭の荷受け作業の動画が追い越しました。



フォローに繋がらなくても、普段目にする事のない産業の動画に触れてもらえることが第一歩だと思いますので、引き続き投稿を続けたいと思います。